

様式第1号 (第6条関係)

協働事業に関する提案書

平成 31 年 4 月 4 日

狹山市長 小谷野 剛 様

団体名 ボランティアの止まり木

所在地

代表者名 大内輝夫

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	○市民提案型協働事業・ 行政提案型協働事業
2 事業名	ボランティア体験発表会 ボランティアの活動・今 ささえあう ゆたかな 地域を目指して
3 事業期間	令和1年 6月 1 日から令和2年 2月 28 日
4 事業種別	単年度事業 ○継続事業
5 事業予算	100,000円
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入し てください	地域住民を対象に地域でボランティアとして活動を行う 団体、個人、学校、会社等による活動状況の体験発表を行い 地域福祉に関する普及啓発を図る。また、参加した団体 及び個人ボランティアがお互いの活動を理解し合い、今後 の活動に生かすための情報交換をする場を作ることで 活性化を図り、ボランティア間の連携の輪を継続的に作る。
7 添付書類	<input type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

団体名 ボランティアの止まり木

1 事業名	<p>ボランティアの体験発表会 ボランティアの活動・今 ささえあう ゆたかな 地域を目指して</p>
2 事業の詳細	<p>1、ボランティア団体同士が分野をこえて連携することで、ボランティアの連携の輪を持続させたい 2、高齢化の進展によりボランティア団体の活動者が年々減少している。この打開策として新たな人材の発掘を行うと同時にボランティア団体へ活動者を繋げていき、ボランティア活動の活性化を図りたい 3、ボランティア活動団体、個人から4名の方が体験発表をし、新たな活動者を広げる 4、その後のフォロー</p>
3 実施体制	<p>ボランティアの止まり木の会員から、実行委員会を作り、団体の選定、内容の確認、講師の選定及び調整を行う。</p>
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】 講演会の企画と運営及び終了後のグループ間の交流の場の橋渡し</p>
	<p>【市の役割】 ボランティアの普及拡大のためのバックアップ 情報の一元化に向けたウェブページの作成</p>
5 協働の効果	<p>今までのボランティアの交流は活動分野間のみであったが、この講演会をスタートとして、幅広い分野との交流ができるようになるとともに、お互いを理解し、協力できるようになると思われる。また、シルバーから高校生までの世代間交流ができるきっかけにもなる。</p>
6 事業のアピールポイント	<p>幅広いボランティアの体験発表を聞くことにより団体間の連携と、世代間交流を促すことで、各グループの交流の輪を広げていく。 また、発表団体へボランティアとして参加される方が見込まれ、団体の人材の新陳代謝と活性につながる。</p>